



復興から新たな  
住民自治組織の構築



防災テーマパーク  
nuovo



宮農型発電事業  
ソーラーシェアリング

## 住民参加の防災と持続可能なインフラづくり ～地域経済循環でレジリエンスを高める～

### 趣旨

地域の視点で見れば、まずは自分たちの暮らしを自分たちで守る力や今後の食料やエネルギーの自給力を高めることは、昨今の災害の状況やエネルギー供給の観点から必要となると考えます。自衛分散の暮らしや産業・インフラの構築、レジリエンス力（しなやかな強さ）を獲得するため、私たちはどんなことができるのか。エネルギー、防災、住民参加の視点で3者の方からお聞きします。本企画は、若者のアクションを新創する対話の場「松本若者会議」の連動企画として実施します。

2021年 **2月17日** (水)

**14:00-17:00**

講演・パネルディスカッション

会場：**オンライン**

お申し込み後、URLをお送りします。

**無料・要予約▶**

お問い合わせ

[hokushin.local.sdgs@gmail.com](mailto:hokushin.local.sdgs@gmail.com)



講師：

**山内 幸治**さん

(NPO法人ETIC. 事業統括ディレクター)

**馬上 丈司**さん

(千葉エコ・エネルギー株式会社 代表取締役)

**林 映寿**さん

(日本笑顔プロジェクト 代表)



## ◆登壇者プロフィール



### 山内幸治さん NPO法人ETIC. 理事・事業統括ディレクター

1997年、早稲田大学在学中に、NPO法人ETIC.の事業化に参画。国内初の実践型インターンシップの事業化や、その仕組みの地域展開に取り組む。その後、社会起業家の育成を行うアクセラレーションプログラムや先進10自治体と連携したローカルベンチャー協議会の設立など、各省庁、大手企業、ベンチャー企業、地方自治体等と連携して、社会や地域課題に取り組む担い手を育む環境整備を進めている。立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科非常勤講師や、環境省「地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業」アドバイザー、科学技術振興機構「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム(SOLVE for SDGs)」アドバイザーなどを務める。



### 馬上丈司さん 千葉エコ・エネルギー株式会社代表取締役

1983年生まれ。株式会社エコ・マイファーム代表取締役。一般社団法人ソーラーシェアリング推進連盟代表理事。千葉大学人文社会科学専攻博士後期課程修了。博士（公共学）。専門はエネルギー政策、公共政策、地域政策。2012年10月に大学発ベンチャーとして千葉エコ・エネルギー株式会社を設立し、各地で自然エネルギーによる地域活性化事業に携わっている。



### 林 映寿さん 日本笑顔プロジェクト代表

1976年生まれ。長野県小布施町 真言宗豊山派浄光寺副住職(浄光寺第34世)。仏教離れする現代において、いかに必要とされる寺院になれるかを課題にあげ、数々の寺子屋活動を行う。2013年スラックラインを導入し、地域や行政を巻き込み3年連続全国大会開催。2017年 9月 アジアでは初となるワールドカップを開催。東日本大震災をきっかけに日本笑顔プロジェクトを創設。復旧や救助に必要な重機や四輪バギー等の免許取得やトレーニングができる、nuovo（ノーボ）プロジェクトもスタートした。昨年12月と今年1月に発生した、関越道・北陸道の雪害立ち往生に対し、四輪バギーとスノーモービルで支援活動を行う。自衛隊、NEXCO、国交省、長野県警等とも連携。

モデレーター 川村健一、勝亦達夫（北信スマートテロワール事務局）

## ◆内容

1. 北信スマート・テロワールについて（地域循環共生圏とは）
2. 持続可能でレジリエンスを高める地域の取組
  - ・食とエネルギーの自給率を高める営農型太陽光発電～ソーラーシェアリング
  - ・平時を楽しみ有事に備える～防災テーマパークnouvo
  - ・災害からの復興と新たな住民自治組織の可能性
3. 3者でのパネルディスカッション→参加者を交えてのディスカッション

## ◆予約申込み

<https://forms.gle/v3s1NjueAMPSdFe38>

主催 北信スマート・テロワール

共催 一般社団法人スマート・テロワール協会

後援 信州大学地域防災減災センター、特定非営利活動法人長野県NPOセンター

お問い合わせ

[hokushin.local.sdgs@gmail.com](mailto:hokushin.local.sdgs@gmail.com)